

第5学年2組 社会科学習指導案

令和3年11月30日(木) 第3時限

指導者 山内 彰一

1 単元 情報化した社会と産業の発展

2 指導計画(16時間完了)

- (1) わたしたちをとりまく情報・・・・・・・・・・1時間
- (2) 情報産業とわたしたちの暮らし・・・・・・・・6時間
- (3) 情報を生かす産業・・・・・・・・・・5時間(本時5/5)
- (4) 情報を生かすわたしたち・・・・・・・・・・4時間

3 本時の指導

(1) 目標

- コンビニエンスストアが販売、運搬、サービスのためにどのような情報通信技術を活用しているかを、関係図にまとめることができるようにする。(思考・判断・表現)

(2) 努力点との関わり

本単元は、学習する内容を児童が「決める」、学習内容を「まとめる」、学習した内容を「伝え合う」、伝えられた内容を「加工する」伝えられた内容を「再度まとめる」、学習の「まとめ」をするという流れで行う。「(3)情報を生かす産業」では、児童が学習する内容を「情報を活用して販売する」、「情報を生かしてものを運ぶ」、「情報通信技術の活用によるサービスの広がり」の中から一つ選択する。





内容をまとめる際には「情報を活用してできること」を黄カード、「情報通信システム」を青カード、「メリット」を白カードにまとめる。これにより関係図にまとめる際、集めた情報が使いやすくなる。教師が学び方を決めるのではなく、自分の学びの進度を考え、必要に応じて協働することを教師がサポートすることで、「一人一人が考えを深められる」と考えた。

本時では、関係図を作るときには、「個別に」、「学級の友達と」、さらに、「他校の友達と」と大きく3種類の方法から、学習形態を児童が選択して学習をしていく。「他校の友達と」は、オンラインテレビ会議システムを活用し、名古屋市内の他校の同学年の児童と学習を行う。前時までに、学級の友達との学習を終了した児童が、児童が新たな友達と交流することにより、さらに考えを深めることができる。児童が自分にあった学習方法を選択することによって、一人一人の考えをより深められると考える

(3) 準備

教師用タブレット(1台)、児童用タブレット(児童数×2)、テレビ会議システム

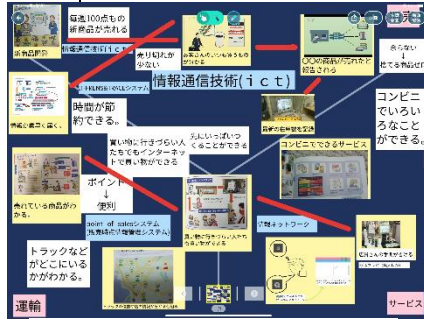
(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時のめあてをつかむ。	
	コンビニエンスストアの販売、運輸、サービスを関係図にまとめよう。	
35分	2 「販売」、「運搬」、「サービス」の関係をまとめる。	 <p>これまで調べてきた「販売」、「運輸」、「サービス」の関係をYチャートにまとめよう。</p>
(5分)	(1) 自分の学び方を決める。	
	<p>【学び方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学びを個人でまとめる。 ○ 同じ学級の児童と話し合いながらまとめる。 ○ 他の学級の児童と通信して、話し合いながらまとめる。 	 [個人でまとめる]  [友達と話し合う]  [通信して話し合う]

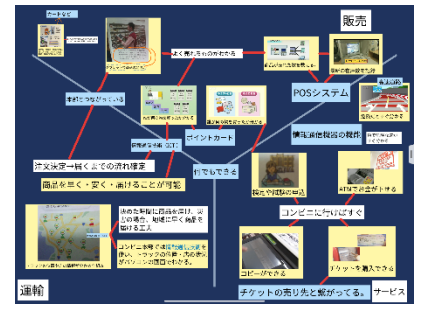
(15分)

(2) 関係図にまとめる。

黄色カード・・・できること
 青色カード・・・情報通信システム
 白色カード・・・メリット
 Yチャートに分類し、これらの関連を赤色でつなぎまとめる。



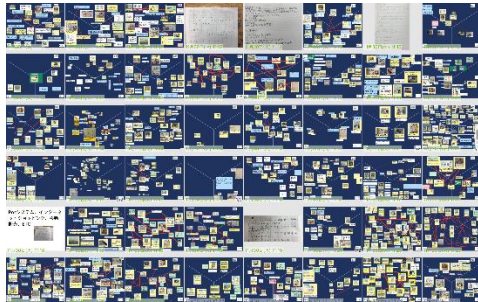
〔矢田小の児童のまとめ①〕



〔矢田小の児童のまとめ②〕

(15分)

(3) 中間提出をし、考えの共有をする。



〔矢田小・御園小当日参加の50人分のまとめ〕



友達に教えてもらったところを考えて、新しくまとめをするよ。



話し合いをしたら、自分より詳しくまとめたカードがあったから、友達にももらったよ。

後半は私も御園小学校の友達との話し合いに参加するよ。矢田小の話し合いの内容を伝えるね。



5分

3 まとめをする。

(5) 学びの場

自分の学び方を決めたあと、以下のような場所に分かれて学習を進める。

黒板



〔全員で話を聞いたり、確認したりする場〕



〔他校とオンラインで話し合う場〕



〔学級の友達と協力して学習を進める場〕



〔個別に学習を進める場〕



多目的室

図書室